

Minami Kyushu University Syllabus

[illegible]

授業計画 【第11回】	配慮が必要な幼児への理解 保育者が「気になる子ども」と感じている子どもについて理解し、保育者としての援助方法について学びます。
授業計画 【第12回】	幼児期の教育と小学校教育の接続-指針・要領と学習指導要領の関連 幼児期の学びと小学校教育の接続の重要性について学びます。
授業計画 【第13回】	幼児期の教育と小学校教育の接続-保育者・小学校教諭として考える 保育者および小学校教諭の立場から幼児期の教育と小学校教育の接続について考えます。
授業計画 【第14回】	実習事例から考察する幼児理解と援助 観察実習時のエピソード記録を活用し、子どもの理解について再度、考察します。
授業計画 【第15回】	まとめ これまでの学びから、幼児理解の必要性について振り返り、学びの定着を図ります。
授業の到達目標	1. 乳幼児期の子どもの発達を理解する 2. 保育実践場面での子どもの様々な言動や表情の背景にある子どもの思いをつかむための視点と方法を理解する 3. 保育実践記録を子ども理解の視点から分析する力を養う 4. 子ども理解の深まりと子どもの発達を促す保育指導・援助の豊かさとの相互関係を理解する
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	授業の中で次回の内容に関する説明を行います。その内容に関する事例を各自で探すことを予習とします。（1時間程度）
授業時間外学習【復習】	授業後は、授業内で扱った事例に関して再度、各自で検討し、幼児理解を深めることを復習とします。（30分程度）
課題に対する フィードバック	授業の感想は返却します。 課題は評価後に返却します。 最終試験は試験後に解説を行います。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 定期試験 50点 2) 学習態度・意欲 20点 3) 課題提出 30点
テキスト	必要に応じて資料を配布します。
参考書	『「気になる子」と言わない保育』（1,800+税）、赤木和重他編著、ひとなる書房、2013
備考	